

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	3	中勢沿岸流域下水道(雲出川左岸処理区)	津市	④	<p>【全体事業概要】                      計画区域面積:3,907.2ha(うち、津市3,907.2 ha)                      計画処理人口:119,300人(うち、津市119,300人)                      流域幹線延長:12.7km                      中継ポンプ場:1箇所                      処理能力:71,320m<sup>3</sup>/日                      終末処理場:1箇所</p> <p>【事業目的】                      伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。</p>	S56	199,447 (流域下水道: 45,966) (流域関連公共下水道: 153,481)	49.9% (流域: 73.1%) (流関: 42.9%)	<p>【整備済み】 (流域下水道)                      ・処理能力:40,220 m<sup>3</sup>/日                      ・ポンプ場:1箇所                      ・幹線管渠延長:12.7 km (流域関連公共下水道)                      ・計画区域:1,694.8 ha</p> <p>【残計画】 (流域下水道)                      ・処理能力:31,100 m<sup>3</sup>/日 (流域関連公共下水道)                      ・計画区域:2,212.4 ha</p>	少子高齢化の影響により、人口が減少傾向になっている。	<p>【費用効果分析結果】                      C(費用)=238,197百万円、                      B(便益)=401,592百万円、                      B/C=1.69</p> <p>【コスト削減】                      計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト削減の取り組みを行ってきた。今後も更なるコスト削減策に努めたい。                      (具体的事例)                      ・計画・設計の見直し(一部区域を松阪処理区へ編入)                      ・再生材の活用(砕石、アスファルト合材)</p> <p>【代替案】                      汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。                      経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。</p>	関連市の下水道整備の進捗に伴い増加する処理場への流入水量にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H55年度の完成を見込んでいる。
						S	194,963 (流域下水道: 41,567)(流域関連公共下水道: 153,396)	48.8% (流域: 70.3%) (流関: 42.9%)				
						H55	4,484 (流域下水道: 4,399) (流域関連公共下水道: 85)	98.3% (流域: 100%) (流関: 8.2%)				

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	5	宮川流域下水道(宮川処理区)	伊勢市、玉城町、明和町	④	<p><b>【全体事業概要】</b>                      計画区域面積:4.674ha                      (うち伊勢市3.558ha, 玉城町462ha, 明和町654ha)                      計画処理人口:139,830人                      (うち伊勢市109,400人, 玉城町13,110人, 明和町17,320人)                      流域幹線延長:46.7km                      処理能力 :75,600m3/日                      終末処理場 :1箇所</p> <p><b>【事業目的】</b>                      伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。</p>	H10	238,647 (流域下水道:84,724) (流域関連公共下水道:153,923)	41.6% (流域:46.7%, 流開:38.8%)	<p><b>【整備済み】</b>                      (流域下水道)                      処理能力:13,400m3/日                      幹線管渠延長:19.8km                      (流域関連公共下水道)                      計画区域:1,539.2ha</p> <p><b>【残計画】</b>                      (流域下水道)                      処理能力:62,200m3/日                      幹線管渠延長:26.9km                      (流域関連公共下水道)                      計画区域:3134.8ha</p>	少子高齢化の影響により、人口が減少傾向になっている。	<p><b>【費用効果分析結果】</b>                      C(費用)=243,206百万円、                      B(便益)=291,788百万円、                      B/C=1.20</p> <p><b>【コスト削減】</b>                      計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト削減の取り組みを行ってきた。今後も更なるコスト削減策に努めたい。                      (具体的事例)                      ・新技術(長距離推進工法)の採用による立坑の削減                      ・再生材の活用(碎石、アスファルト合材)</p> <p><b>【代替案】</b>                      汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。                      経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。</p>	関連市町の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行い、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H69年度の完成を見込んでいる。
						H69	4,741 (流域下水道:4,322) (流域関連公共下水道:419)	99.8% (流域:99.8%, 流開:100%)				